

《第71回》平成三十一年二月の作品

〈二月八日（金）於・文京シビックセンター5D〉

冬木立透けて眩しき夕陽かな

（奉男）

冬帽子生姜てんぷら頬張りぬ

（貴美）

江戸城の堀の水面に春動く

（正佳）

戸隠の霊峰そびゆ雪野原

（孝昭）

古き池巡る小径や露の臺

（隆治）

点滴の落つる間隔冬浅し

（前歩）

塀越しに今年も同じ梅の花

（正雄）

旧友の死亡知らせる寒見舞

（平六）

悴める指で結びし真田紐

（芙沙）

凍空を突き差す千木の力かな

（一江）

谷川の底まで透けて冬木立

（清助）

